

..... 編集後記

◆平成9年が始まりました。今年はどうな年になるのでしょうか。今年の干支は丑だそうですが、ゆっくりと大地を踏みしめて着実に前に進む年になるのでしょうか。去年は地質関連ではトンネル事故に始まり、土石流災害で終わったような気がします。土石流の災害についてテレビの報道で建設大臣は「土質・地盤の問題も考慮して今後の安全対策を考えたい」と言っておられましたが、地質情報の重要性が再認識される年になるのでしょうか。

◆しかしながら、地質情報の重要性の再認識が地質災害がもたらした多くの人命の犠牲の結果であることは悲しいことです。今年こそ、地質情報が日常生活に定着する元年であつたらと思うこと切なるものがあります。

◆今月は宇宙からの贈り物つくば隕石について、その後、解ったことを特集記事としました。犬に隕石を探させることについては若干の議論がありました。が、話題提供の一つとして載せることにしました。

◆日本人は欧米人と比較して独創性に劣るのはなぜかという話を聞いたことがあります。結論的には

農耕民族と狩猟民族の違いであろうとのこと。農耕民族は定常的に食物が確保されることを最善とし、確実な栽培法を継承し、失敗する危険性のある新しい試みは飢えを生じる可能性があるので生活集団として排除してきたとのこと。狩猟はいつでも獲物が獲れるとはかぎりませんので色々な工夫をしなければなりません。そのために、独創性は集団が生活するために認知されてきたのでしょう。学問は狩猟民族的で良いのではないかと考えていますので、色々な記事をお寄せください。

◆八木健三先生から神津俣祐先生の故郷を旅された時の記事と自筆のスケッチを寄せていただきました。

◆モンゴル草原地帯の地質の話は日本では見ることができない地層について紹介されています。地球全体の地史を考える時に参考になるかと思います。

◆前にも書きましたが、地質学の将来はいかに地質現象に興味を持つ若い人がどれだけいるかにかかっています。今月号に桐生高校地学部の紹介記事をご寄稿していただき大変嬉しく思っています。

がんばれ桐生高校地学部！ (有田正史)

地質ニュース編集委員会

委員長：有田正史

副委員長：石井武政

委員：佐藤興平・今井 登・村上文敏・大熊茂雄

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係(山崎 浩・谷田部信郎)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3504

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

| | | | |
|--------------|-----------------------------|-------|-----|
| 地質ニュース | 第509号 | 1997年 | 1月号 |
| | 定価 | ¥770 | 〒実費 |
| 1997年1月1日 発行 | | | |
| 編集 | 工業技術院地質調査所 | | |
| 発行人 | 株式会社 実業公報社 | | |
| | 代表者 林 光生 | | |
| 発行所 | 株式会社 実業公報社 | | |
| | 東京都千代田区九段北1の7の8 | | |
| | Tel. (03)3265-0951(代表) 〒102 | | |
| | 振替口座 00110-6-32466 | | |
| | 麹町局私書箱第21号 | | |

©1997 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター 本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。